

### I 第40週の発生動向 (2015/9/28~10/4)

1. 手足口病については、五所川原保健所管内を除くすべての保健所管内で**警報**が継続しています。
2. 感染性胃腸炎については、患者報告数が前週の40人から74人に増加しました。今後の発生動向に注意が必要です。

### II 第40週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、**警報・注意報**については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科															0
インフルエンザ															
RSウイルス感染症	1	0.13	4	0.44	6	0.60	1	0.20	5	0.83	1	0.25	18	0.43	-2
咽頭結膜熱					1	0.10							1	0.02	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	0.13	11	1.22	16	1.60			1	0.17			29	0.69	7
感染性胃腸炎	24	3.00	12	1.33	13	1.30	8	1.60	5	0.83	12	3.00	74	1.76	34
水痘			1	0.11	1	0.10	1	0.20			2	0.50	5	0.12	-2
手足口病	21	2.63	20	2.22	35	3.50	2	0.40	38	6.33	28	7.00	144	3.43	-23
伝染性紅斑	1	0.13			1	0.10					4	1.00	6	0.14	-1
突発性発しん	1	0.13	5	0.56	5	0.50			5	0.83	2	0.50	18	0.43	2
百日咳															0
ヘルパンギーナ	2	0.25	2	0.22	9	0.90					2	0.50	15	0.36	1
流行性耳下腺炎	4	0.50									3	0.75	7	0.17	4
眼科															
急性出血性結膜炎															0
流行性角結膜炎	1	0.50			1	0.50							2	0.18	1
基幹															
クラミジア肺炎															0
細菌性髄膜炎															-1
マイコプラズマ肺炎					2	2.00					9	9.00	11	1.83	4
無菌性髄膜炎															0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0

は警報、は注意報。「空欄」:患者発生無し。

### III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- ・結核(二類全数把握疾患):東地方+青森市3人、弘前1人、八戸1人、上十三1人(2015年計:229人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患):弘前1人(2015年計:46人)

### IV 病原体検出情報 ※( )内は、検査材料及び検体採取日です。

- ・下気道炎患者(鼻汁、9/10)・・・エンテロウイルス68型、ヒトパレコウイルス1型:八戸1人
- ・その他の患者(咽頭ぬぐい液、9/13)・・・エンテロウイルス68型:八戸1人

## 感染症の窓

### ノロウイルス感染症 (感染性胃腸炎としては五類定点把握感染症)

ノロウイルス(Norovirus)はヒトに対して嘔吐、下痢などの急性胃腸炎症状を起こすウイルスで、毎年秋から冬にかけて流行する感染性胃腸炎の原因ウイルスの一つになっています。また、食中毒の原因ウイルスとしても知られています。ヒトへの感染経路は主に経口感染(食品、糞口)です。

ノロウイルスに感染すると、24~48時間の潜伏期間を経て、吐き気、嘔吐、下痢等の症状を呈し、発熱は軽度です。通常、これらの症状が1~2日続いた後、治癒し、後遺症もありません。また、感染しても発症しない場合や軽い風邪のような症状の場合もあります。ただし、乳幼児や高齢者及び体力の弱っている方では、嘔吐、下痢による脱水や窒息に注意が必要です。

ノロウイルスには5つの遺伝子群(GI-V)が存在していますが、ヒトに感染するのはGI、II、IVです。更に、GIは9種類、GIIは22種類の遺伝子型に分類されています。国立感染症研究所が本年9月に発行したIASR Vol.3, No.9(No.427)によると、2014/15冬季シーズンにノロウイルスGII.17変異株が関東近隣自治体で流行しましたが、三重県での検出報告もあり、全国的に流行していることが推測されるということです。

現段階ではGII.17変異株に対する免疫を持たない集団が多いことが予測され、今後本ウイルスが国内において主要な流行株となる可能性があります。2015/16シーズン以降、GII.17変異株の動向には十分注意が必要です。

感染防止策として、手洗いの励行及び吐物などウイルスを含む汚染物の適切な処理が重要です。詳しくはノロウイルスに関するQ&Aをご覧ください。(http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html)

【参考】厚生労働省 HP、国立感染症研究所 HP

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2015年第30週～2015年第40週）

週	期間	東青 (東地方保健所・青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
30	H27.7.20 ~ H27.7.26			カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人 侵袭性肺炎球菌感染症1人 梅毒1人			
31	H27.7.27 ~ H27.8.2		急性脳炎1人		破傷風1人		
32	H27.8.3 ~ H27.8.9	腸管出血性大腸菌感染症1人		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症4人	
33	H27.8.10 ~ H27.8.16	レジオネラ症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人	
34	H27.8.17 ~ H27.8.23	アメーバ赤痢1人		水痘(入院例)1人	レジオネラ症1人		
35	H27.8.24 ~ H27.8.30	腸管出血性大腸菌感染症2人 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人	侵袭性肺炎球菌感染症1人	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人			
36	H27.8.31 ~ H27.9.6	アメーバ赤痢1人 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人		アメーバ赤痢1人			
37	H27.9.7 ~ H27.9.13	腸管出血性大腸菌感染症1人 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人					
38	H27.9.14 ~ H27.9.20	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症2人					
39	H27.9.21 ~ H27.9.27	腸管出血性大腸菌感染症1人					
40	H27.9.28 ~ H27.10.4		腸管出血性大腸菌感染症1人				

VI 結核(二類全数把握疾患) (2015年第30週～2015年第40週)

単位：人

週	期間	東青 (東地方保健所・青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
30	H27.7.20 ~ H27.7.26		1	2			
31	H27.7.27 ~ H27.8.2	2	1			1	1
32	H27.8.3 ~ H27.8.9	1	2	3		1	
33	H27.8.10 ~ H27.8.16	1	1				1
34	H27.8.17 ~ H27.8.23	3	1	1	1	1	
35	H27.8.24 ~ H27.8.30	1		3		2	
36	H27.8.31 ~ H27.9.6	3	1	1		1	
37	H27.9.7 ~ H27.9.13	2	3	2		1	
38	H27.9.14 ~ H27.9.20		1		1	1	
39	H27.9.21 ~ H27.9.27	2		1			1
40	H27.9.28 ~ H27.10.4	3	1	1		1	

VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国 (2015年第1週～第38週累計)

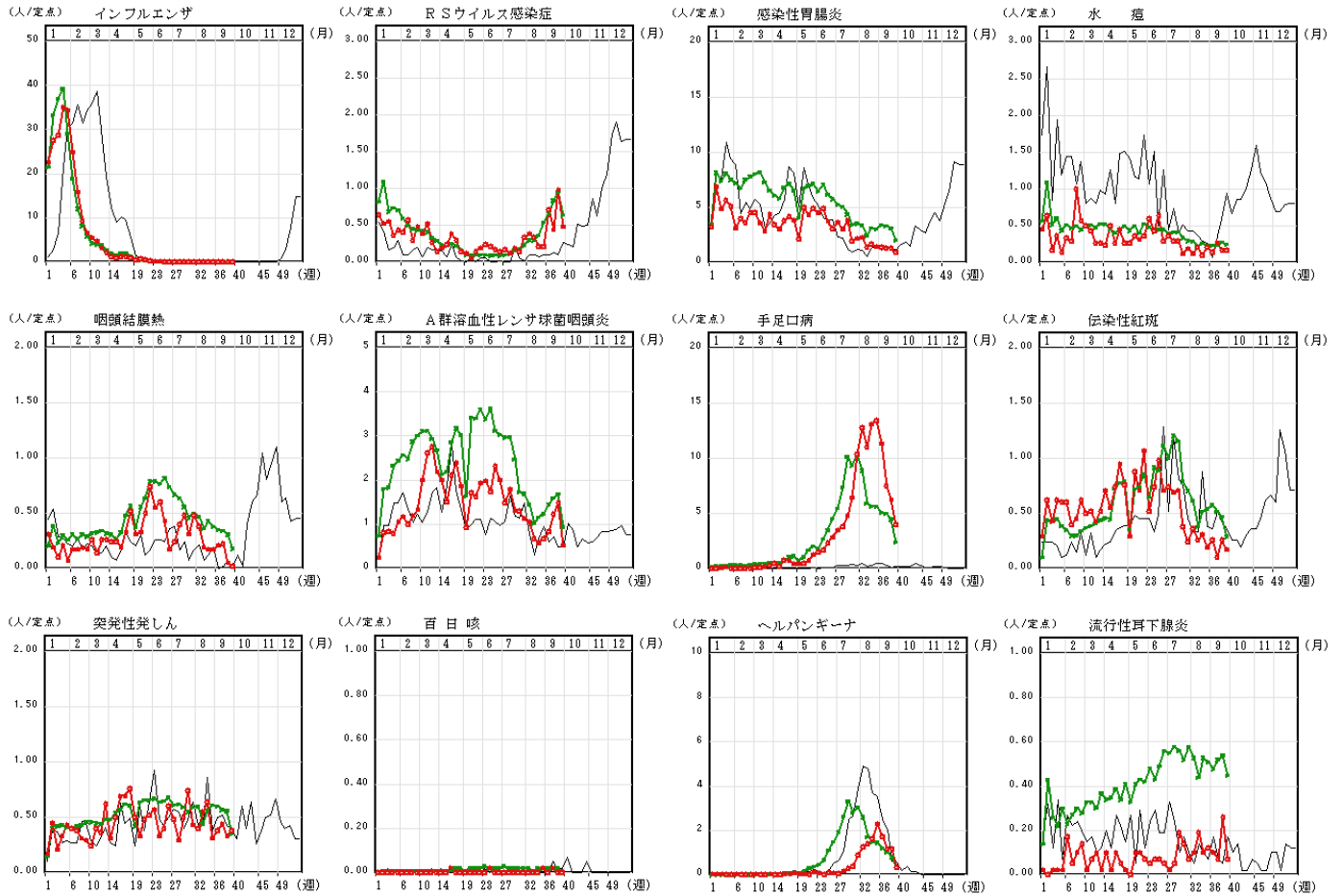
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキソコックス症	オウム病	回腸熱	コングジオリチス症	重症熱性血小板減少症候群	チクンギア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ブルセラ症	マリア	野兔病	ライム病	類鼻疽
累積報告数	17502	3	116	2898	22	25	141	188	9	5	3	2	49	13	81	210	130	1	4	32	2	7	1
分類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルトヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵袭性心臓カビ菌感染症	侵袭性髄膜炎	侵袭性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイン耐性腸球菌感染症	風しん	麻疹	薬剤耐性アシネトバクター感染症	
累積報告数	1128	12	813	177	1157	363	11	134	319	1017	56	176	25	1631	222	1758	87	85	47	130	28	24	

青森県 (2015年第1週～第40週累計)

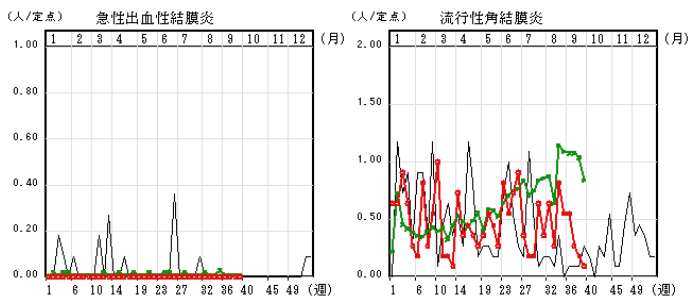
分類	二類	三類	三類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	細菌性赤痢	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルトヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵袭性インフルエンザ菌感染症	侵袭性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	破傷風					
累積報告数	229	46	1	8	2	9	1	16	2	1	2	2	2	14	3	5	1					

## VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2015年第39週)

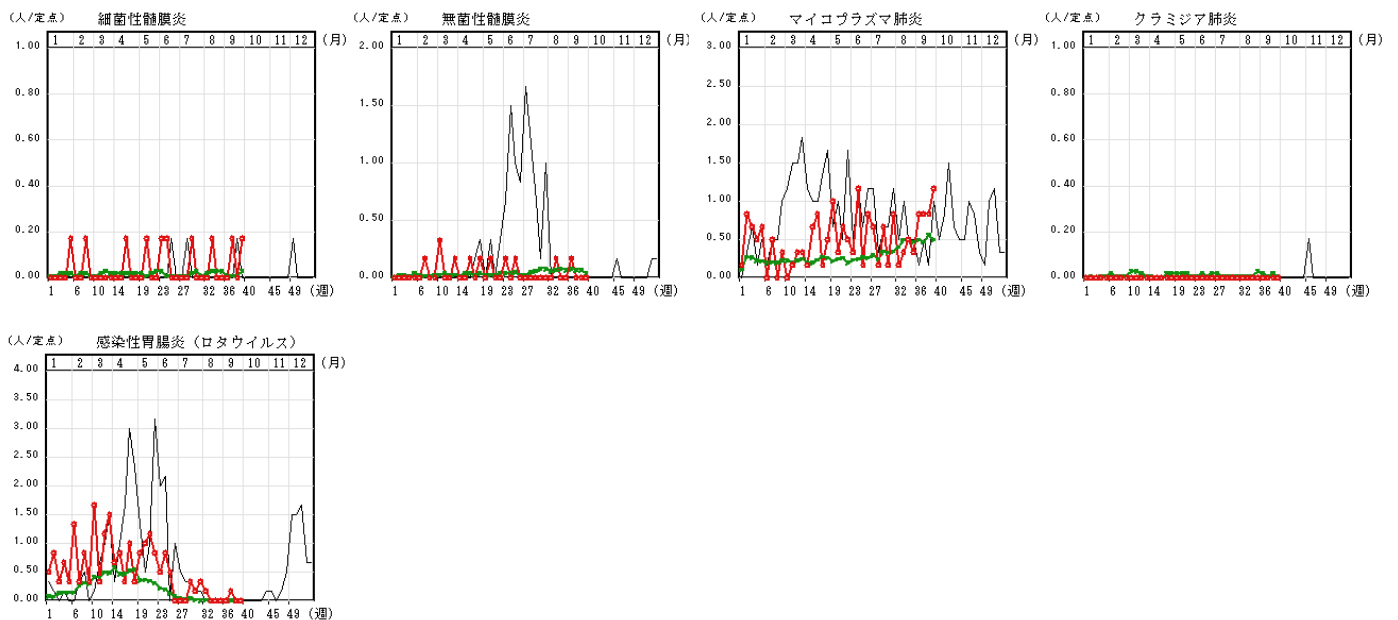
グラフの説明 ○—○は2015年青森県、——は2014年青森県、×—×は2015年全国



## IX 眼科定点把握疾患週別推移 (2015年第39週)



## X 基幹定点把握疾患週別推移 (2015年第39週)



## XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成17年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

第40週は報告がありませんでした。

### 平成27年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-13週	14-17週	18-22週	23-26週	27-30週	31-35週	36-39週	40週	
介護・老人福祉関係施設	件数	7	5	1	0	2	0	0	0	0	0	15
	発症者数	107	94	47	0	27	0	0	0	0	0	275
児童・婦人関係施設等	件数	3	0	1	1	0	1	1	0	0	0	7
	発症者数	61	0	5	19	0	14	28	0	0	0	127
障害関係施設	件数	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
	発症者数	0	0	10	0	0	16	0	0	0	0	26
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	10	5	3	1	2	2	1	0	0	0	24
	発症者数	168	94	62	19	27	30	28	0	0	0	428